

単元の目標

- (1) 日本の政治のあらましや政党の役割、議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用の在り方、法に基づく公正な裁判の保障及び地方自治の基本的な考え方について理解するとともに、日本の政治の仕組みに関するさまざまな諸資料から情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。
- (2) 民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について、民主主義や法の支配といった見方・考え方を生かしながら、多面的・多角的に考察・議論し、その過程や結果を適切に表現することができる。
- (3) 国民主権と日本の政治について、現代社会にみられる課題や解決方法を考える活動を通して、主体的に社会に関わろうとする。

標準的な展開例

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 単元の学習問題をつかみ、民主政治の仕組みについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「政治ってなんだろう？」を読み、政治についての疑問を話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・国会では何をしているのだろう。 ・投票率が低いとどうなるのかな。 ・私たちは政治にどう関わればいいのか。 ●社会をよりよくしていくために、私たちはどのように政治に関わっていくべきだろう。 ★民主政治には、どのような仕組みが大切なだろう。 <p>○政治の働きと権力分立について調べる。</p> <p>○民主主義と国民の政治参加の仕組みについて考える。</p> <p>○小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>■なぜ選挙や議会を通じて政治が行われるのだろう。</p> <p>2 選挙の意義と仕組みについて考える。</p> <p>★選挙は何のためにあるのだろう。また、どのような選挙制度があるのだろう。</p> <p>○民主政治と選挙について調べる。</p> <p>○選挙制度について考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の選挙制度は小選挙区制と比例代表制を組み合わせることにより、より多くの国民の意見を政治に反映させることができ、みんなに公正な政治に近づけている。 </p> <p>○選挙制度の問題点について調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 82～83 ・既習内容を振り返らせ、みんなの意見を聞いてから多数決を行っていたことを思い出させる。 ・選挙に関する記事を見せることで、政治に対する関心をもたせる。 ・教 P. 84～85 ・民主主義や法の支配の考え方の大切さに着して追究させる。（民主主義、法の支配） ・資料を活用して、権力が集中している場合、国民にどのような不利益が生じるのかを捉えさせる。 ・多くの国が間接民主制を採用しているが、多数決を行う際には注意が必要であることを、「アクティビティ」に取り組ませることで捉えさせる。 【評】民主政治の仕組みと意義について調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・教 P. 86～87 ・なぜ選挙という方法があるのか、なぜそれぞれの選挙制度の特徴があるのか、効率と公正に着目して追究させる。 (効率と公正) ・明治時代の選挙の風刺画と現在の選挙の写真を比較し違いを探させることで選挙の原則に気付かせる。 ・「アクティビティ」に取り組ませることで、さまざまな仕組みを組み合わせることにより、より多くの国民の意見を政治に反映させようとしていることに気付かせる。 ・一票の格差については、本質を理解しづらい生徒が多い。分数を例として用いるなどして分母（有権者）が多いほうが一票の価値が低くなることをつかませる。 【評】選挙の四つの原則とその必要性を理解する活動を通して、「知識・技能」を評価する。

<p>3 国民と政治をつなぐ政党について考える。</p> <p>★政党は何のためにあるのだろう。また、政党政治にはどのような特徴があるのだろう。</p> <p>○政党の役割について考える。</p> <p>○政党政治の仕組みについて調べる。</p> <p>○近年、連立政権が続いている理由について考える。</p> <p>4 政治参加と世論について考える。</p> <p>★国民の政治参加の方法と世論やマスメディアが民主政治で果たす役割はどのようなことだろう。</p> <p>○政治参加について考える。</p> <p>○世論とマスメディアについて考える。</p> <p>○自分は今後どのように政治に参加していきたいかについて考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が投票に行かないと、若者の意見が政治に反映されにくくなってしまう。なので、選挙権を得たら、必ず選挙に行って投票するようにしたい。 <p>○小単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>5 国会の地位と仕組みについて調べる。</p> <p>★国会の国の政治における位置付けと仕組みは、どのようなになっているのだろう。</p> <p>○国会が「国権の最高機関」とされている理由について考える。</p> <p>○二院制と衆議院の優越について調べる。</p> <p>○国会議員の権利について考える。</p> <p>○小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。</p> <p>■国会、内閣、裁判所はそれぞれどのような役割を担い、どのような関係にあるのだろう。</p> <p>6 国会の仕事について調べる。</p> <p>★国会はどのような仕事を行い、どのように運営されているのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 88～89 ・政党がなぜ必要なのかを、対立と合意や民主主義に着目して追究させる。 (対立と合意、民主主義) ・国民の意見や利益が多様化していることからさまざまな意見を政治に反映させる受け皿として複数の政党が存在していることに気付かせる。 ・資料 4 を活用して、政党を通して多様な国民の意見から生じる対立を国会において調整していることを捉えさせる。 ・国民から多数支持された政党が政策を実現していくという民主主義の理念を実際に反映されていることに気付かせる。 【評】政党の役割と政党政治の必要性について調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・教 P. 90～91 ・国民がさまざまな方法で行う政治参加の意義について、民主主義と公正に着目して追究させる。(民主主義、公正) ・「アクティビティ」に取り組ませることで、投票率の高い 60 歳代の意見は政治に取り入れられやすくなり、若者の意見を政治に反映させる機会を逃していることに気付かせる。 ・マスメディアが世論の形成に与える影響の大きさをつかませるとともに、メディアリテラシーの必要性に気付かせる。 ・本時の学習を踏まえ、あと 3 年で有権者になることを見据え、どのように政治参加していくことが必要かを考えさせる。 【評】今後どのように政治に参加していきたいかを考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・教 P. 94～95 ・国会の意義を、民主主義に着目して追究させる。(民主主義) ・議会制民主主義の仕組みに従い、主権者である国民の代表で構成されていることを捉えさせる。 ・資料 4 を活用し、衆議院に優越があることで、政治の停滞を防ぐことにより効率よく民意を政治に反映させられることに気付かせる。 ・なぜ国会議員にはさまざまな権利が与えられているのかを問うことにより、国民の代表たる使命の重さを感じ取らせたり、次時の国会の仕事の学習につなげたりする。 【評】議会制民主主義及び国会の仕組みを調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・教 P. 96～97 ・国会の仕事や運営を、対立と合意、民主主義に着目して追究させる。 (効率と公正、民主主義)
--	---

<p>○国会の仕事について調べる。</p> <p>○国会の種類と運営について調べる。</p> <p>○なぜ法律を制定するのに時間をかけるのかを考える</p> <p>7 内閣の仕組みと議院内閣制について調べる。 ★内閣の仕組みはどのようなになっているだろう。</p> <p>○内閣の仕事と仕組みについて調べる。</p> <p>○議院内閣制について調べる。</p> <p>○議院内閣制と民主主義について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の議院内閣制では国民が直接首相を選ぶことはできないが、国会と内閣が互いに抑制と均衡を図っているため、権力が暴走しにくくなっている。 <p>8 行政権の拡大と国民の生活について調べる。 ★内閣や公務員の仕事は、どのように国民生活と関わっているのだろう。</p> <p>○行政や公務員の役割について調べる。</p> <p>○行政改革について考える。</p> <p>○内閣の仕事と国民生活の関係について整理する。</p> <p>9 法を守る裁判所について調べる。 ★公正な裁判を行うための仕組みは、どのようなになっているのだろう。</p> <p>○裁判の仕組みについて調べる。</p> <p>○司法権の独立と公正な裁判について調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料5を活用し、国会の仕事は多岐にわたることをつかませる。 年間を通じて多くの時間をかけて国会が開かれていることや、多くの手順を踏んで法案が成立していることに気付かせる。 対立を調整して合意を形成するために慎重に話し合われていることに加え、立法が慎重であるべきことを理解させる。 <p>【評】国会の仕事や運営について、その特徴や種類を調べまとめる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教P. 98～99</p> <ul style="list-style-type: none"> 内閣の仕事や内閣と国会との関係を、民主主義に着目して追究させる。（民主主義） 内閣は、その仕事や仕組みの面で、国会と特に深く結び付いていることを捉えさせる。その際、国民の代表である国会議員の中から選ばれた代表者によって内閣が構成されていることに着目させ、民主主義に基づいて内閣が組織されていることに気付かせる。 内閣が成立するまでの過程が複雑であるため資料6を活用して視覚的に捉えさせる。 「アクティビティ」に取り組ませることで、議院内閣制と大統領制を比較させ、大統領制の方がより民意を反映しているが、代わりに権力が行き過ぎてしまった場合に、立法府や行政府にそれを抑制する権限がないことを捉えさせる。 <p>【評】議院内閣制と大統領制を比較し、民主主義について考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教P. 100～101</p> <ul style="list-style-type: none"> 内閣や公務員の仕事やその進め方を、効率と公正に着目して追究させる。 （効率と公正） 行政の管轄する内容が多岐にわたることや、それによる弊害について捉えさせる。 「公民+α」に取り組ませることで、効率と公正の観点から、行政改革が国民の利益につながっていることに気付かせる。 どのような課題があり、どのような対策がとられているのかを中心にまとめさせる。 <p>【評】行政改革が効率・公正の観点から国民生活へ与える影響について説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教P. 104～105</p> <ul style="list-style-type: none"> 独立した裁判所による公正な裁判のための仕組みとその意義を、個人の尊重と法の支配に着目して追究させる。 （個人の尊重、法の支配） 「アクティビティ」と関連付けながら、裁判の仕組みについて調べさせる。 「確認」「表現」に取り組ませることで、三審制により公正な判断に努めていることや、司法権の独立により法の支配を維持していることを捉えさせる。
--	---

<p>○ 国会が制定した法律が人権に反していたらどうしたらよいのかを考える。</p> <p>10 裁判の仕組みと人権の尊重について調べる。</p> <p>★ 刑事裁判では、公平な裁判をするためにどのような工夫がされているのだろう。</p> <p>○ 民事裁判と刑事裁判の仕組みについて調べる。</p> <p>○ 裁判での人権尊重と、冤罪について考える。</p> <p>○ 裁判での人権尊重について、最も重要だと思う工夫について話し合う。</p> <p>11 私たちの司法と裁判員制度について考える。</p> <p>★ 私たちは司法とどのように関わればよいのだろう。</p> <p>○ 司法制度改革について調べる</p> <p>○ 裁判員制度について考える。</p> <p>○ 私たちは司法とどのように関わればよいのかについて考え、話し合う。</p> <p>12 三権分立と政治参加について考える。</p> <p>★ 三権分立は、私たちの基本的人権の保障や民主政治にどのように役に立つのだろう。</p> <p>○ 国民主権と三権分立について整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国会は内閣に対して首相を指名したり、内閣不信任の決議をしたりすることができる代わりに、内閣は国会に対して衆議院の解散を行うことができる。 ・ 国民は選挙や世論、国民審査によって、その意思を国政に反映させ、民主主義を実現している。 <p>○ 国民が政治参加することに対する意義や課題について考え、話し合う。</p> <p>○ 三権分立で大切にされていることは何かについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 違憲判決の例を提示し、司法権は人権を守る役割があることを捉えさせる。 <p>【評】 日本の裁判制度が、法の支配や個人の尊重に基づいて成り立っていることを調べる活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教 P. 106～107 ・ 刑事裁判のルールを、個人の尊重と法の支配に着目して追究させる。 <p>(個人の尊重、法の支配)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 民事裁判の流れと刑事裁判の流れを比較させることで、原告や検察官の有無や被告と被告人といった名称の違いに着目させる。 ・ 推定無罪の原則や疑わしきは罰せずといった考え方があるにも関わらず、なぜ冤罪が生まれるのかを考えさせる。その際、「アクティビティ」に取り組みせるとより冤罪への理解が深まる。 ・ 刑事裁判での工夫と憲法の条文において保障されている権利とを関連付けて話し合わせる。 <p>【評】 裁判が個人の人の尊重につながっているか考えを深め、説明する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教 P. 108～109 ・ 裁判員制度の意義を、法の支配や民主主義に着目して追究させる。 <p>(法の支配、民主主義)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 費用や時間など、さまざまな課題を解決するために、司法制度改革が進められていることを知らせる。 ・ 裁判の判決においても主権者である国民が関与する部分が増えてきていることを捉えさせる。 ・ 実際に自分が裁判員になったら、どのようなことを意識するとよいかについて考え、話し合わせることで、主体的に社会に関わろうとする素地を養わせる。 <p>【評】 司法制度や裁判員制度がどうして必要なのか考える活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教 P. 112～113 ・ 三権分立における国家機関の役割を確認し、法の支配や民主主義に着目して追究させる。(法の支配、民主主義) ・ これまでの国政の学習を振り返らせ、三権同士の関係や三権と国民との関わりについて整理する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「アクティビティ」に取り組みさせることで、国民が政治参加する意義や課題について考えさせ 3年後の自分はどのように政治参加するとよいかを考えさせるきっかけとする。 ・ 主権者である国民が、政治に関心をもって三権に影響を与えていくことの大切さや、
--	--

<p>○小単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>13 私たちの暮らしと地方自治との関わりについて調べる。 ★地方自治とはどのようなもので、なぜ必要なのだろう。</p> <p>○自分が住む地域の長所と短所について考え、発表する。</p> <p>○地方自治の意義と役割について調べる。</p> <p>○地方自治が必要な理由をまとめ、説明する。</p> <p>○小単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる ■地方自治において、私たち住民はどのような役割を果たすべきだろうか。</p> <p>14 地方自治の仕組みについて調べる。 ★地方公共団体とは何だろう。それはどのような仕組みなのだろう。</p> <p>○地方公共団体の仕事について調べる。</p> <p>○首長と地方議会の役割について調べる。</p> <p>○首長や地方議会と住民との関わりについて説明する。</p> <p>15 地方自治の現状と今後の課題について調べる。 ★地方公共団体と国とのあいだには、どのような関係があり、地方自治の今後にはどのような課題があるのだろうか。</p> <p>○財政における国と地方の関係について調べる。</p> <p>○自分が住むまちの財政について話し合う。</p>	<p>それによって国民のためのバランスのとれた政治の実現につながっていることに気付かせる。</p> <p>【評】国会・内閣・裁判所の互いに対する働きや、主権をもつ国民が三権とどのように関わっているのかを整理する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教P. 114～115</p> <p>・地方自治の意義や役割について、個人の尊重と民主主義に着目して追究させる。 (個人の尊重、民主主義)</p> <p>・地域には多様な特徴と課題があることを捉えさせる。</p> <p>・よりよい地方自治を実現するためには、民主主義の考えに基づく地域住民の主体的な参加と合意の積み重ねが必要であることを捉えさせる。</p> <p>・地方自治の必要性について、「個人の尊重」と「民主主義」の観点からまとめさせる。</p> <p>【評】よりよい地方自治の方法について調べ説明する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教P. 116～117</p> <p>・地方公共団体の政治の仕組みについて、民主主義と効率に着目して追究させる。 (民主主義、効率)</p> <p>・いくつかの仕事を提示し、市区町村の仕事、都道府県の仕事、国の仕事などに仲間分けさせるクイズ形式で学ばせてもよい。</p> <p>・地方公共団体の仕事は、住民の生活と密接に関わっていることを捉えさせる。</p> <p>・それぞれの役割だけでなく、執行機関と議決機関による権力分立がなされていること、互いに抑制と均衡を図りながら地方自治が行われていることに気付かせる。</p> <p>・住民から選挙で選ばれた首長や議員が、互いにその職責を果たし、互いに抑制と均衡を図りながら地方自治を行うことで、住民の意思が地方自治に反映されていることを捉えさせる。</p> <p>【評】地方公共団体の役割や地方自治の仕組みについて説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教P. 118～119</p> <p>・地域により歳入の確保のしやすさや使いみちに違いがあることを、効率と公正に着目して追究させる。(効率と公正)</p> <p>・地方公共団体の歳入の種類だけでなく、地域によって財源の比率に大きな差があることに気付かせる。</p> <p>・「アクティビティ」に取り組ませることで、地域によって財源の使い道に特色があることに気付かせる。</p> <p>・市町の財政に関するデータは、ホームページで公開されている広報を調べると分かりやすく記載されている。</p>
--	--

<p>○ 地方分権の取組や課題について調べ、説明する。</p> <p>16 私たちが地方自治に関わるための方法について調べる。 ★地方自治を実現するために、私たちはどのように住民参加していくとよいのだろう。</p> <p>○ 住民の政治参加を広げる仕組みについて調べる。</p> <p>○ 地域づくりにおける住民の役割について調べる。</p> <p>○ 私たちはどのように地方自治に参加していくとよいかについて考える。 ・ よりよい地域をつくるには、住民が主体的に社会参画していくことが大切であると分かったので、今後は積極的にボランティアに参加していきたい。</p> <p>17 単元のまとめをして、学習を振り返る。 ★単元のまとめをして、自分の考えを見直そう。 ○ 語句の意味を確認する。</p> <p>○ 単元の学習問題について自分の考えをまとめる。</p> <p>○ グループで意見交換をする。</p> <p>○ 学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方財政の課題と解決方法に着目して調べさせる。 ・ 市町村合併については、身近なところでは、以前に美浜町と南知多町で合併について協議されていたことなどを紹介することで、生徒の関心を高めたい。 <p>【評】 地方財政の課題について、自主財源と依存財源の役割に着目して調べ説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教 P. 120～121 ・ 住民の声が反映される仕組みと、住民が担う役割について、対立と合意、民主主義に着目して追究させる。 (対立と合意、民主主義) ・ 直接請求権については、資料 4 を基に、議会の解散やリコールなど、与える影響が大きいものについては、必要な署名数も多くなることに気付かせる。 ・ 自分たちが参加しているボランティアも社会参画の一環であることに気付かせることで、今後積極的に社会に関わろうとする思いをもたせたい。 ・ 住民が地方自治に参加していくことの大切さやその方法、自分との関わりなどについて、生徒それぞれの思いを記述させる。 <p>【評】 どのように地方自治に参加していくとよいかについて考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教 P. 126～127 ・ 既習事項の知識について確認させ、整理させる。 ・ フィッシュボーンを活用して、考えを整理させる。 ・ 級友の意見を参考に、自分の考えを見直すことで、考えを再構築させる。 <p>【評】 単元の学習問題について振り返る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
--	---

【 備 考 】